

2-2-2 社会的・文化的状況

(1) 人口及び産業の状況

1) 人口の状況

① 人口・世帯数・人口密度等

京田辺市及び枚方市の人口・世帯数を表 2-2. 47に示す。

平成28年の人口・世帯数は、京田辺市で67,466人、27,712世帯、枚方市で406,133人、176,645世帯となっている。また、人口密度は京田辺市で1,572人/km²、枚方市で6,237人/km²となっている。

人口の推移についてみると、京田辺市は平成24年以降増加傾向を維持しており、枚方市は平成24年以降減少傾向となっている。

表 2-2. 47 人口・世帯数

市	年次	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1世帯当たり 人員 (人)	人口密度 (人/km ²)
京田辺市	平成 24 年	64,636	25,580	2.53	1,505
	平成 25 年	65,403	25,919	2.52	1,523
	平成 26 年	66,093	26,584	2.49	1,539
	平成 27 年	66,879	27,124	2.47	1,558
	平成 28 年	67,466	27,712	2.43	1,572
枚方市	平成 24 年	409,964	173,344	2.36	6,299
	平成 25 年	408,610	174,419	2.34	6,279
	平成 26 年	407,528	175,717	2.32	6,258
	平成 27 年	406,133	176,645	2.30	6,237
	平成 28 年	406,133	176,645	2.30	6,237

注 1. 京田辺市の値は各年 4 月 1 日現在。

枚方市の値は、平成 27 年以前が各年 12 月末日現在、平成 28 年が 1 月 1 日現在。

注 2. 枚方市の平成 27 年の 1 世帯当たり人員は、平成 28 年 1 月 1 日現在。

出典：「京田辺市統計書 平成 28 年版」（平成 29 年、京田辺市）

：「第 42～46 回 枚方市統計書（平成 24～28 年版）」（平成 25～29 年、枚方市）

② 人口動態

京田辺市及び枚方市の人口動態を表 2-2. 48に示す。

京田辺市では、平成25年以降も継続して自然動態、社会動態ともに増加を示しているが、枚方市では、平成25年以降、自然動態及び社会動態ともに減少している。

表 2-2. 48 人口動態

市	年次	自然動態 (人)			社会動態 (人)		
		出生	死亡	増減	転入	転出	増減
京田辺市	平成 25 年	572	532	40	3,003	2,694	309
	平成 26 年	552	479	73	3,258	2,441	817
	平成 27 年	536	499	37	3,226	2,544	682
枚方市	平成 25 年	3,178	3,251	△73	13,096	14,194	△1,281
	平成 26 年	3,061	3,236	△175	13,113	14,082	△907
	平成 27 年	2,998	3,464	△466	13,171	14,197	△929

注 1. 枚方市の平成 25 年以降の社会動態は、転入又は転出に職権記載及び職権削除を加えた値。

注 2. △は人口減少を意味する。

出典：「京田辺市統計書 平成 27・28 年版」（平成 28・29 年、京田辺市）

：「第 46 回 枚方市統計書（平成 28 年版）」（平成 29 年、枚方市）

2) 産業の状況

① 産業の構造

京田辺市及び枚方市の産業別人口を表 2-2. 49に示す。

平成12年以降の10年間の産業別人口の総数（就業者数合計）は、京田辺市で増加しており、枚方市では減少している。産業別の就業者数では、京田辺市で第3次産業が増加し、第1次産業、第2次産業ともに減少している。枚方市では、第1次産業、第2次産業及び第3次産業とも減少している。なお、平成22年の第3次産業の就業者割合は、京田辺市68.7%、枚方市70.3%と高い割合を占めている。

表 2-2. 49 産業別人口

市	年次	項目	第1次産業 (人)	第2次産業 (人)	第3次産業 (人)	分類不能の 産業 (人)	就業者数 合計 (人)
京田辺市	平成12年	総数	802	7,975	18,324	136	27,237
		構成比	(2.94%)	(29.28%)	(67.28%)	(0.50%)	(100.00%)
	平成17年	総数	756	6,911	19,393	760	27,820
		構成比	(2.72%)	(24.84%)	(69.71%)	(2.73%)	(100.00%)
	平成22年	総数	614	6,513	19,797	1,902	28,826
		構成比	(2.13%)	(22.59%)	(68.68%)	(6.60%)	(100.00%)
枚方市	平成12年	総数	1,017	56,779	124,290	4,144	186,230
		構成比	(0.55%)	(30.49%)	(66.74%)	(2.23%)	(100.00%)
	平成17年	総数	1,134	48,251	127,030	4,953	181,368
		構成比	(0.63%)	(26.60%)	(70.04%)	(2.73%)	(100.00%)
	平成22年	総数	871	40,541	121,367	9,901	172,680
		構成比	(0.50%)	(23.48%)	(70.28%)	(5.73%)	(100.00%)

出典：「京田辺市統計書 平成28年版」（平成29年、京田辺市）

：「第32・41・46回 枚方市統計書（平成14・23・28年版）」（平成15・24・29年、枚方市）

② 第1次産業

京田辺市及び枚方市の専業兼業農家数（販売農家）を表 2-2.50に、経営耕地面積（販売農家）を表 2-2.51に示す。

京田辺市、枚方市とも農家人口、農家総戸数とも減少している。両市とも農家に占める割合では兼業農家が多いが、経年的には減少している。また、兼業農家では農業所得を従とする第2種兼業農家の割合が多い。

経営耕地面積では、両市とも総面積は減少している。また、田、畑、樹園地の種別では、両市とも田の面積割合が高い。近年の推移では、京田辺市の畑面積の増加を除けば、他の耕地はいずれも減少している。

表 2-2.50 専業兼業農家数（販売農家）

市	年次	項目	農家人口	農家 総戸数	専業	兼業（戸）		
			（人）	（戸）	（戸）	総数	第1種 兼業農家	第2種 兼業農家
京田辺市	平成 17 年	総数	4,546	680	119	561	112	449
		構成比		(100.0%)	(17.5%)	(82.5%)	(16.5%)	(66.0%)
	平成 22 年	総数	2,749	627	107	520	78	442
		構成比		(100.0%)	(17.1%)	(82.9%)	(12.4%)	(70.5%)
	平成 27 年	総数	2,109	557	161	396	53	343
		構成比		(100.0%)	(28.9%)	(71.1%)	(9.5%)	(61.6%)
枚方市	平成 17 年	総数	2,594	584	117	467	55	412
		構成比		(100.0%)	(20.0%)	(80.0%)	(9.4%)	(70.5%)
	平成 22 年	総数	2,180	520	112	408	41	367
		構成比		(100.0%)	(21.5%)	(78.5%)	(7.9%)	(70.6%)
	平成 27 年	総数	1,703	460	136	324	17	307
		構成比		(100.0%)	(29.6%)	(70.4%)	(3.7%)	(66.7%)

出典：「京田辺市統計書 平成 27・28 年版」（平成 28・29 年、京田辺市）

：「第 46 回 枚方市統計書（平成 28 年版）」（平成 29 年、枚方市）

表 2-2.51 経営耕地面積（販売農家）

市	年次	項目	総面積 （a）	田 （a）	畑 （a）	樹園地 （a）
京田辺市	平成 17 年	総数	53,579	45,512	5,752	2,315
		構成比	(100.0%)	(84.9%)	(10.7%)	(4.3%)
	平成 22 年	総数	53,707	44,964	5,896	2,847
		構成比	(100.0%)	(83.7%)	(11.0%)	(5.3%)
	平成 27 年	総数	48,234	40,881	5,431	1,922
		構成比	(100.0%)	(84.8%)	(11.3%)	(4.0%)
枚方市	平成 17 年	総数	31,359	27,256	3,216	887
		構成比	(100.0%)	(86.9%)	(10.3%)	(2.8%)
	平成 22 年	総数	28,254	24,683	2,976	595
		構成比	(100.0%)	(87.4%)	(10.5%)	(2.1%)
	平成 27 年	総数	27,052	23,203	3,046	803
		構成比	(100.0%)	(85.8%)	(11.3%)	(3.0%)

出典：「京田辺市統計書 平成 27・28 年版」（平成 28・29 年、京田辺市）

：「第 46 回 枚方市統計書（平成 28 年版）」（平成 29 年、枚方市）

③ 第2次産業

京田辺市及び枚方市の事業所数、従業者数及び製造品出荷額等の推移を表 2-2. 52に、産業中分類別事業所数、従業者数及び製造品出荷額等を表 2-2. 53に示す。

事業所数をみると、京田辺市、枚方市ともに平成22年と平成26年を比較するとやや減少し、従業者数では、京田辺市で増加、枚方市で減少している。また、平成26年の製造品出荷額等は、京田辺市、枚方市とも平成22年と比較して増加している。

産業中分類別の製造品出荷額等については、京田辺市では、はん用機械器具製造業が最も多く、次いで食料品製造業、印刷・同関連業の順となっている。また枚方市では、生産用機械器具製造業が最も多く、次いで鉄鋼業、食料品製造業の順となっている。

表 2-2. 52 事業所数、従業者数及び製造品出荷額等の推移

市	年次	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
京田辺市	平成 22 年	84	3, 621	13, 110, 620
	平成 23 年	80	3, 047	11, 933, 179
	平成 24 年	78	3, 454	10, 833, 001
	平成 25 年	76	3, 596	12, 074, 506
	平成 26 年	81	3, 979	18, 762, 153
枚方市	平成 22 年	310	17, 493	63, 660, 470
	平成 23 年	318	16, 415	70, 867, 166
	平成 24 年	308	16, 999	69, 142, 810
	平成 25 年	308	16, 736	69, 966, 029
	平成 26 年	297	17, 070	73, 661, 358

注. 各年 12 月 31 日現在。ただし、京田辺市の平成 23 年次のみ平成 24 年 2 月 1 日現在。

出典：「京田辺市統計書 平成 25・28 年版」（平成 26・29 年、京田辺市）

：「平成 24 年度経済センサスー活動調査 製造業（市区町村編）」
（平成 25 年、総務省・経済産業省）

：「第 43・46 回 枚方市統計書（平成 25・28 年版）」（平成 25・29 年、枚方市）

表 2-2. 53 産業中分類別事業所数、従業者数及び製造品出荷額等

産業中分類	京田辺市			枚方市		
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (万円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (万円)
総数	81	3,979	18,762,153	297	17,070	73,661,358
食料品製造業	6	373	5,323,768	23	3,619	7,901,315
飲料・たばこ・飼料製造業	6	103	320,357	4	57	74,328
繊維工業	2	16	X	20	516	823,876
木材・木製品製造業	2	23	X	1	12	X
家具・装備品製造業	-	-	-	4	31	41,823
パルプ・紙加工品製造業	4	185	817,620	12	337	1,160,912
印刷・同関連業	5	890	3,099,072	9	192	270,395
化学工業	3	32	36,788	15	908	4,478,127
石油製品・石炭製品製造業	-	-	-	2	22	X
プラスチック製品製造業	7	100	110,971	23	1,030	3,150,836
ゴム製品製造業	1	4	X	5	273	433,969
なめし革・同製品・毛皮製造業	-	-	-	1	46	X
窯業・土石製品製造業	5	249	615,762	7	145	607,648
鉄鋼業	1	9	X	18	1,433	7,931,278
非鉄金属製造業	-	-	-	6	317	823,806
金属製品製造業	10	120	162,987	31	945	2,327,937
はん用機械器具製造業	3	916	6,245,463	23	722	1,892,345
生産用機械器具製造業	7	202	354,017	41	4,246	35,784,895
業務用機械器具製造業	7	233	260,320	4	226	234,269
電子部品・デバイス・電子回路製造業	2	155	X	9	194	668,666
電気機械器具製造業	5	193	228,080	17	792	3,058,448
情報通信機械器具製造業	1	41	X	3	236	355,985
輸送用機械器具製造業	4	135	360,423	10	629	1,336,654
その他の製造業	-	-	-	9	142	174,977

注 1. 平成 26 年 12 月 31 日現在。

注 2. “-” は該当数字なし、“X” は該当数値の公表をさし控えたものを示す。

注 3. 従業員 4 人以上の事業所の数値。

出典：「京田辺市統計書 平成 28 年版」（平成 29 年、京田辺市）

：「第 46 回 枚方市統計書（平成 28 年版）」（平成 29 年、枚方市）

④ 第 3 次産業

京田辺市及び枚方市の商店数、従業者及び年間商品販売額の推移を表 2-2. 54 に示す。

商店数は、京田辺市、枚方市ともに減少しており、従業員数は、京田辺市は減少、枚方市は増加している。また、年間商品販売額は、両市とも減少している。

表 2-2. 54 商店数、従業者及び年間商品販売額の推移

市	年次	商店数 (店)	従業員数 (人)	年間商品販売額 (万円)
京田辺市	平成 16 年	429	3,693	7,649,466
	平成 19 年	416	3,746	6,630,696
	平成 26 年	278	2,784	5,941,179
枚方市	平成 16 年	2,726	20,908	47,187,572
	平成 19 年	2,576	21,111	47,103,408
	平成 26 年	2,553	23,875	42,477,190

注. 各年 6 月 1 日現在、平成 26 年は 7 月 1 日現在。

出典：「京田辺市統計書 平成 28 年版」（平成 29 年、京田辺市）

：「第 46 回 枚方市統計書（平成 28 年版）」（平成 29 年、枚方市）

(1) 行政区画の状況

調査地域周辺の行政区画を図 2-2. 20に示す。対象事業実施区域は京田辺市内で、枚方市境界付近に位置している。

(1) 土地利用の状況

1) 現在の土地利用

京田辺市及び枚方市の地目別土地面積を表 2-2. 55に示す。京田辺市は山林及び田が占める割合が多く、枚方市は宅地の占める割合が多い。

また、対象事業実施区域の現況土地利用は山林である。

表 2-2. 55 地目別土地面積

								千㎡
市	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	合計
京田辺市	7,481	2,716	6,479	7	8,517	247	2,315	27,761
枚方市	5,227	1,297	24,414	5	1,058	115	3,170	35,282

注 1. 平成 27 年 1 月 1 日現在。

注 2. 京田辺市：課税の対象にならない土地を除く。田には介在田等、畑には介在畑等、山林には介在山林、雑種地には鉱泉地、牧場を含む。

注 3. 枚方市：固定資産課税台帳に登録されている土地である。田は一般田、介在田、市街化区域田の計、畑は一般畑、介在畑、市街化区域畑の計、山林は一般山林、介在山林の計。

注 4. 端数処理を行っているため、各地目別面積の合計、総数と内訳は整合しない場合がある。

出典：「平成 27 年 京都府統計書」（平成 29 年、京都府）

：「平成 27 年度 大阪府統計年鑑」（平成 28 年、大阪府）

2) 将来の土地利用計画

調査地域周辺の土地利用計画については、京田辺市都市計画マスタープラン（平成29年11月）によると、対象事業実施区域周辺は中部地域の都市型産業ゾーン及び公共公益ゾーンに位置づけられており、環境にやさしく、かつ生産性の高い工場や流通施設が集積する産業ゾーンを目指すこと並びにごみ焼却施設の更新及び緊急輸送路の結節点（田辺西インターチェンジ）という立地特性を活かし、防災拠点とすることが示されている。また、枚方市都市計画マスタープラン（平成29年3月）によると、調査地域は東部地域に位置付けられており、便利で快適に暮らせる都市、都市基盤や公共交通ネットワークが充実した都市、安心安全の都市、水や緑の豊かな地域資源を生かし、質が高く潤いのある都市づくりを目指すことが示されている。

(1) 河川、湖沼及び海域の利用並びに地下水の利用状況

1) 水面利用、その他の水利用の状況

調査地域周辺の主な河川は、調査地域の北東を流れる木津川、その支川である普賢寺川や防賀川、淀川の支川である穂谷川などである。また、京田辺市では、水道用水として一部、地下水を取水して利用している。京田辺市における地下水利用状況を表 2-2. 56に、上水道取水井の位置を図 2-2. 21に示す。

表 2-2. 56 調査地域の地下水利用状況

番号	浄水場名	水源種別	水源名	計画取水量 (m ³ /日)
1	薪浄水場	伏流水	田辺取水井	480
2		浅井戸	浜新田	5,300
3			藪ノ本	4,560
4		深井戸	薪第1取水井	1,680
5			薪第2取水井	2,200
6	大住浄水場	深井戸	大住第1取水井	550
7			大住第2取水井	1,700
8			大住第3取水井	800
9	普賢寺浄水場	深井戸	普賢寺	280

注. 番号は図 2-2. 21 に対応している。

出典：「京田辺市水道ビジョン～未来へうけつぐ故郷の水～」(平成 25 年 2 月、京田辺市上下水道部)

2) 漁業権の設定状況

木津川における内水面漁業権概要を表 2-2. 57に、漁業権位置を図 2-2. 22に示す。木津川水系は、木津川漁業協同組合が漁業権者であり、あゆ、こい、ふな、うなぎ、はえ、ます類が対象魚種になっている。

表 2-2. 57 内水面漁業権概要

漁業権番号	京内共第 7 号
漁業権者の名称及び住所	木津川漁業共同組合 京都府木津川市上狹東下 16 番地の 8
漁業の区域	八幡市上津屋上津屋橋橋脚下流端から上流の木津川本流及びその支流
漁業の種類	第五種共同漁業
漁業権魚種	あゆ、こい、ふな、うなぎ、はえ、ます類
免許期間	平成 26 年 1 月 1 日から平成 35 年 12 月 31 日まで
遊漁の制限又は禁止事項	(1) 水産動植物の採捕の許可(京都府内水面漁業調整規則(昭和 40 年京都府規則第 33 号。以下、この表において「規則」という。)第 6 条)
	(2) 採捕の禁止期間(規則第 25 条)
	(3) 体長等の制限(規則第 26 条)
	(4) 漁具漁法の制限及び禁止(規則第 27 条及び第 31 条、水産資源保護法(昭和 26 年法律第 313 号)第 5 条及び第 6 条)
	(5) 網目の大きさについて(規則第 28 条)
	(6) 採捕の禁止区域(規則第 29 条)
	(7) 外来魚の移植制限(規則第 29 条の 2)

出典：京都府内水面漁業調整規則(昭和 40 年京都府規則第 33 号)

：水産資源保護法(昭和 26 年法律第 313 号)

：「遊漁のてびき～河川・湖沼～(ルールとマナーを守って楽しい遊漁)」(京都府ホームページ)

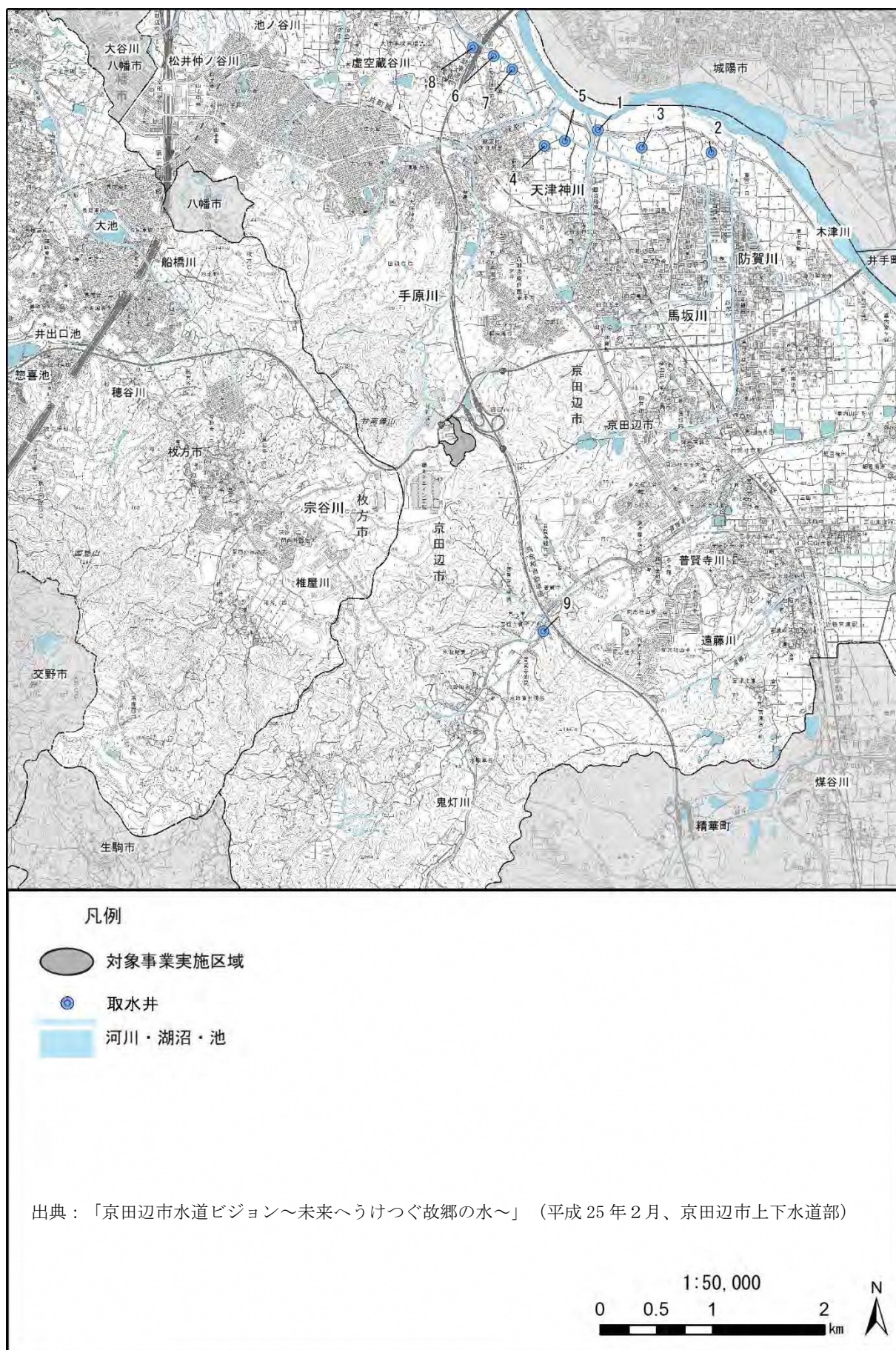


図 2-2.21 上水道取水井位置図

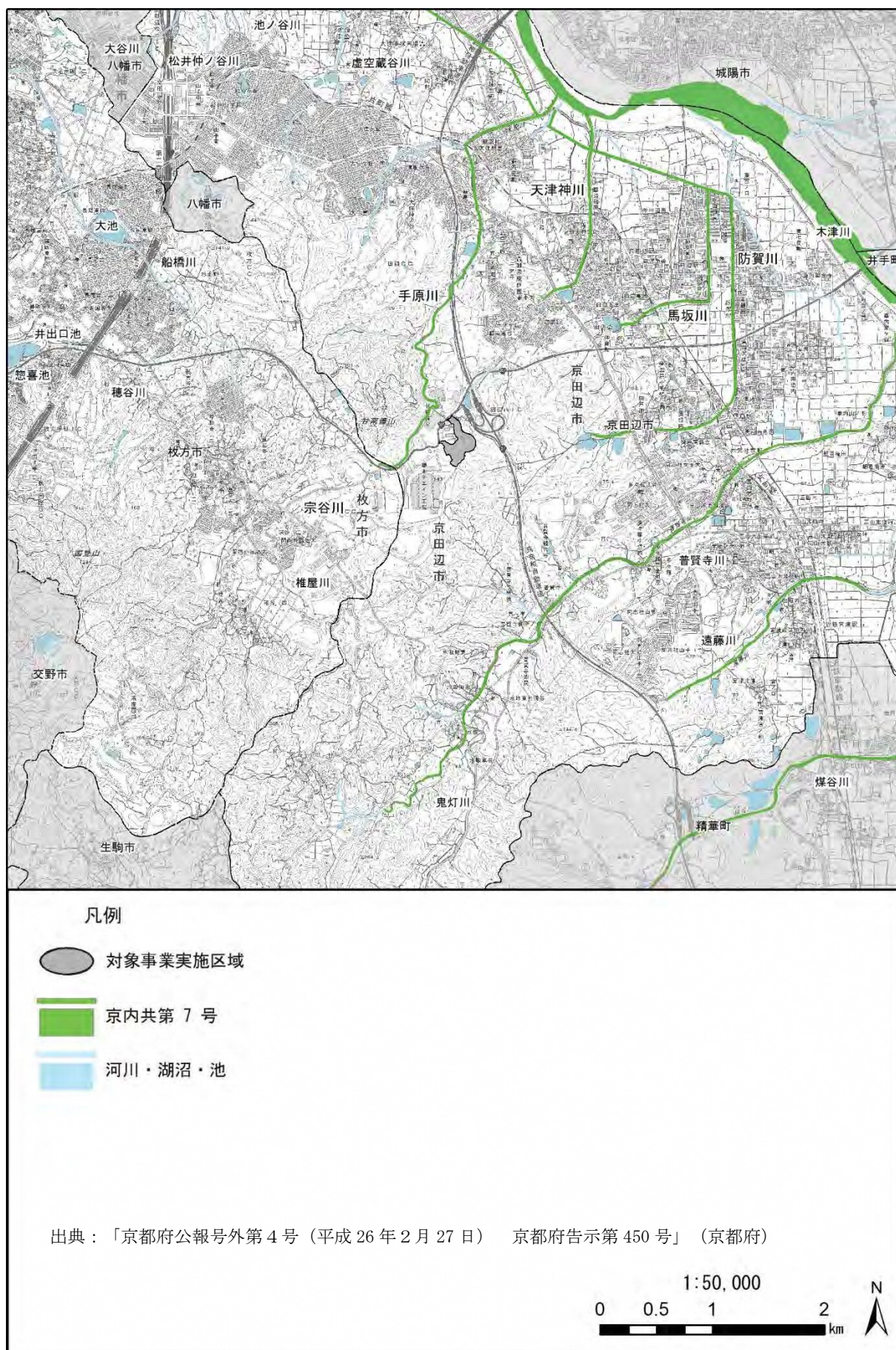


図 2-2.22 漁業権位置図

(1) 交通の状況

1) 道路

調査地域周辺の自動車交通量調査結果を表 2-2.58に、主要な道路及び道路交通センサス位置を図 2-2.23に示す。

調査地域周辺の交通網は、国道では、対象事業実施区域の北に国道307号が東西に延びるほか、対象事業実施区域の東には国道24号（京奈道路）が南北に延びている。このほか、西側には国道1号（第二京阪道路）が南北に延びている。府道としては、八幡木津線や枚方山城線が南北に伸びるほか、生駒井手線が対象事業実施区域の南に延びている。さらに調査地域の北西部では交野久御山線や長尾八幡線や枚方高槻線等が集まっている。自動車交通量をみると、平成27年度における国道の平日24時間の自動車交通量は、国道1号（第二京阪道路）の区間番号「10120」で57,665台、「10130」で54,048台と多くなっている。対象事業実施区域に最も近い区間は、国道307号の「11570」で、平日24時間の自動車交通量は17,147台となっている。

表 2-2.58 自動車交通量調査結果

道路 路線名	交通量 調査単 位区間 番号	観測地点名	昼間 12 時間自動車類 交通量 (7 時～19 時) (台)			24 時間自動車類 交通量 (台)		
			小型	大型	合計	小型	大型	合計
国道 1 号 (京都南道路)	10260	京田辺市松井口仲谷	7,713	1,838	9,551	11,246	3,212	14,458
国道 1 号 (第二京阪道路)	10120	～国道 1 号枚方東 IC	30,605	10,181	40,786	40,280	17,385	57,665
国道 1 号	10210	長尾台	12,871	3,214	16,085	18,551	5,004	23,555
	10220	-	12,518	3,091	15,609	17,673	4,648	22,321
国道 1 号 (第二京阪道路)	10130	国道 1 号枚方東 IC～ 国道 1 号枚方学研 IC	28,451	9,558	38,009	37,530	16,518	54,048
国道 1 号	10230	-	10,756	2,808	13,564	15,148	4,113	19,261
	10240	津田南町 2 丁目	8,429	1,868	10,297	13,202	3,276	16,478
国道 307 号	11560	京田辺市草内五反田	11,268	3,165	14,433	15,451	4,034	19,485
	11570	京田辺市田辺西川原	9,356	3,634	12,990	12,553	4,594	17,147
	11360	-	8,927	1,881	10,808	12,087	2,288	14,375
	11370	-	8,927	1,881	10,808	12,087	2,288	14,375
	11400	-	8,523	1,795	10,318	11,540	2,183	13,723
	11410	-	3,014	169	3,183	3,739	303	4,042
国道 24 号 (京奈和自動車道)	10670	田辺北 IC～田辺西 IC	10,050	2,810	12,860	12,809	3,563	16,372
	10680	田辺西 IC～精華下狛 IC	11,480	2,773	14,253	14,647	3,534	18,181
府道富野荘八幡線	60420	-	881	59	940	1,056	81	1,137
府道枚方山城線	42550	枚方市宗谷 2 丁目	3,698	911	4,609	4,707	1,055	5,762
	42110	京田辺市水取御家	2,024	723	2,747	2,637	824	3,461
府道生駒井手線	41900	京田辺市打田宮東	972	41	1,013	1,162	64	1,226
	41881	-	4,393	843	5,236	5,692	1,115	6,807
府道八幡木津線	40840	京田辺市薪堂ノ後	7,111	900	8,011	9,194	1,300	10,494
	40850	京田辺市興戸東垣内 10-1	10,302	723	11,025	13,336	1,327	14,663
	40860	京田辺市三山木北垣内	12,357	869	13,226	17,073	1,051	18,124
	40910	京田辺市一休ヶ丘	12,665	1,124	13,789	16,487	1,852	18,339
	40920	京田辺市興戸	9,948	815	10,763	12,851	1,356	14,207
府道長尾八幡線(旧)	61830	-	4,814	719	5,533	6,164	974	7,138

注 1. 番号は、図 2-2.23 に対応している。

注 2. “-” は交通量を観測(未観測)していないことを示す。

注 3. “斜体表示” は推定した交通量を示す。

出典：「平成 27 年度 道路交通センサス調査結果（京都府）」（近畿地方整備局道路部ホームページ）

：「平成 27 年度 道路交通センサス調査結果（大阪府）」（近畿地方整備局道路部ホームページ）

また、京田辺市及び枚方市の自動車保有数を表 2-2. 59に示す。自動車保有台数総数をみると、平成27年度末現在、京田辺市35,760台、枚方市162,201台で、両市とも乗用車及び軽自動車の保有台数が多い。

表 2-2. 59 自動車保有数

区 分			京田辺市	枚方市
自動車保有台数総数（台）			35,760	162,201
登録自動車保有台数（台）		自家用	21,040	107,259
		事業用	984	2,598
貨物用（台）	普通車	自家用	487	1,254
		事業用	385	1,540
	小型車	自家用	1,035	4,540
		事業用	18	87
	被けん引車	自家用	4	-
		事業用	42	-
乗合用（台）	普通車	自家用	1	175（バス）
		事業用	73	147（バス）
	小型車	自家用	41	-
		事業用	19	-
乗用（台）	普通車	自家用	9,240	47,143
		事業用	65	23
	小型車	自家用	9,806	52,757
		事業用	115	372
特殊用途用（台）	普通車・小型車	自家用	378	1,174
		事業用	267	423
	大型特殊車	自家用	48	216
		事業用	-	6
小型二輪車（台）			800	4,429
軽自動車（台）			12,936	47,732

注 1. 平成 27 年度末現在の数値。

注 2. 登録自動車総数には小型二輪車、軽自動車を含まない。

注 3. 市町村別台数には不明分があり、その台数を除いているため、総数とは一致しない。

注 4. 軽自動車の市区町村別台数は軽四輪のみである。

注 5. 京田辺市の“-”は、該当なし。

注 6. 枚方市の“-”は、以下の理由による。

- ・ 出典資料で貨物用はトラックと記載し、普通車、小型車には被けん引車を含むため。
- ・ 出典資料で乗合用はバスと記載し、普通車・小型車を区分していないため。

出典：「平成 27 年 京都府統計書」（平成 29 年、京都府）

：「平成 28 年度 大阪府統計年鑑」（平成 29 年、大阪府）

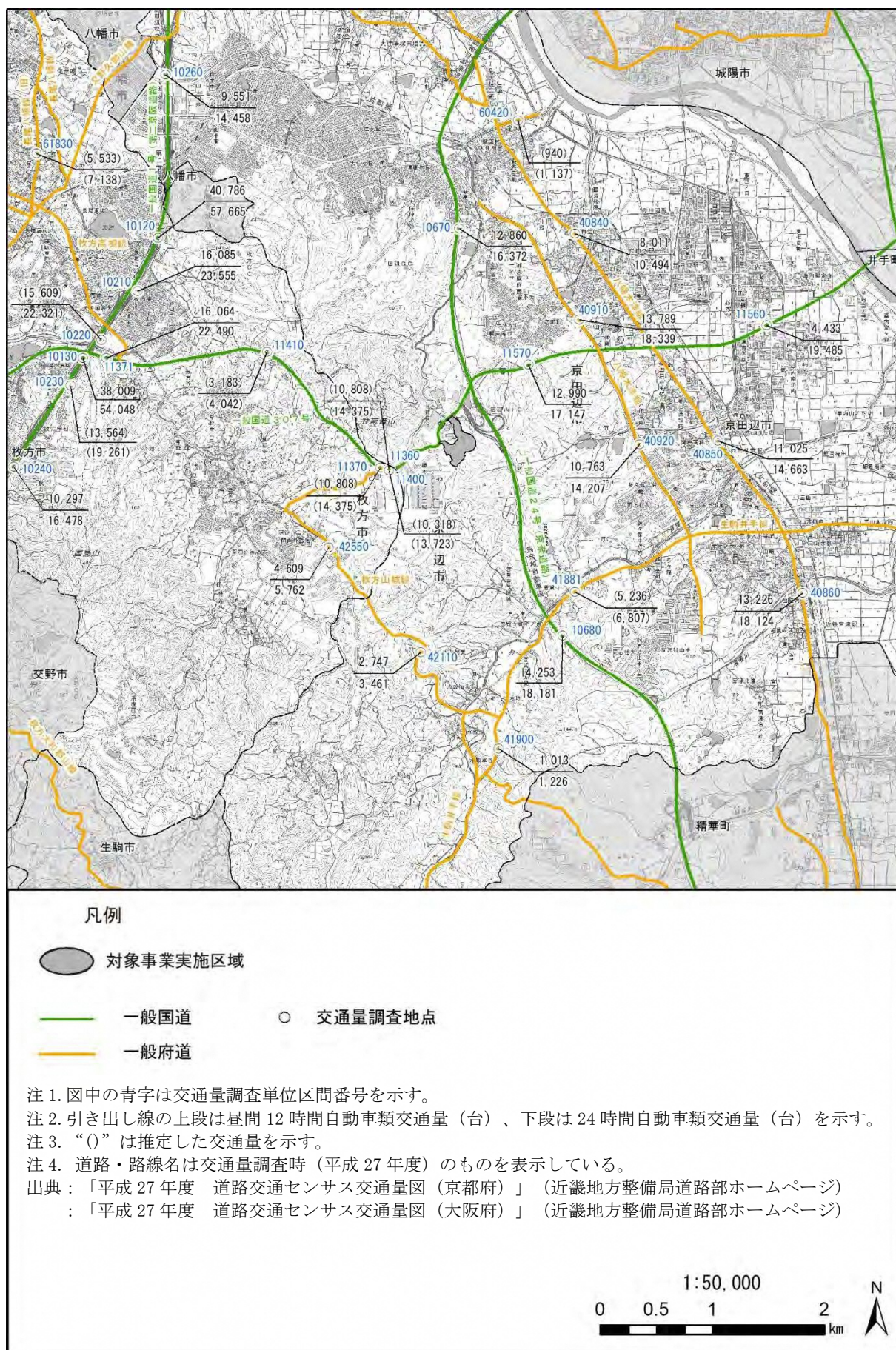


図 2-2.23 主要な道路及び道路交通センサス位置図

2) 鉄道

調査地域周辺の鉄道網の状況は図 2-2. 24に、調査地域周辺に位置する駅について、1 日平均乗車人員数を表 2-2. 60に示す。調査地域を通過する鉄道は、JR学研都市線（片町線）及び近鉄京都線がある。鉄道駅は枚方市内に長尾駅、京田辺市内に松井山手駅、大住駅、同志社前駅、新田辺駅、近鉄宮津駅など10駅がある。対象事業実施区域の最寄り駅はJR学研都市線（片町線）の京田辺駅である。

表 2-2. 60 1 日平均乗車人員数

鉄道	駅名	1 日平均乗車人数		
		平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
JR 学研都市線 (片町線)	松井山手駅	13, 264	13, 784	14, 012
	大住駅	3, 184	3, 184	3, 356
	京田辺駅	12, 132	11, 930	12, 226
	同志社前駅	8, 844	8, 734	9, 022
	JR 三山木駅	1, 614	1, 676	1, 800
	長尾駅	12, 509	11, 920	11, 951
近鉄京都線	新田辺駅	26, 995	26, 104	26, 548
	興戸駅	9, 506	9, 120	9, 742
	三山木駅	5, 480	5, 529	5, 822
	近鉄宮津駅	413	407	418

出典：「京田辺市統計書 平成 28 年版」（平成 29 年、京田辺市）

：「第 46 回 枚方市統計書（平成 28 年版）」（平成 29 年、枚方市）

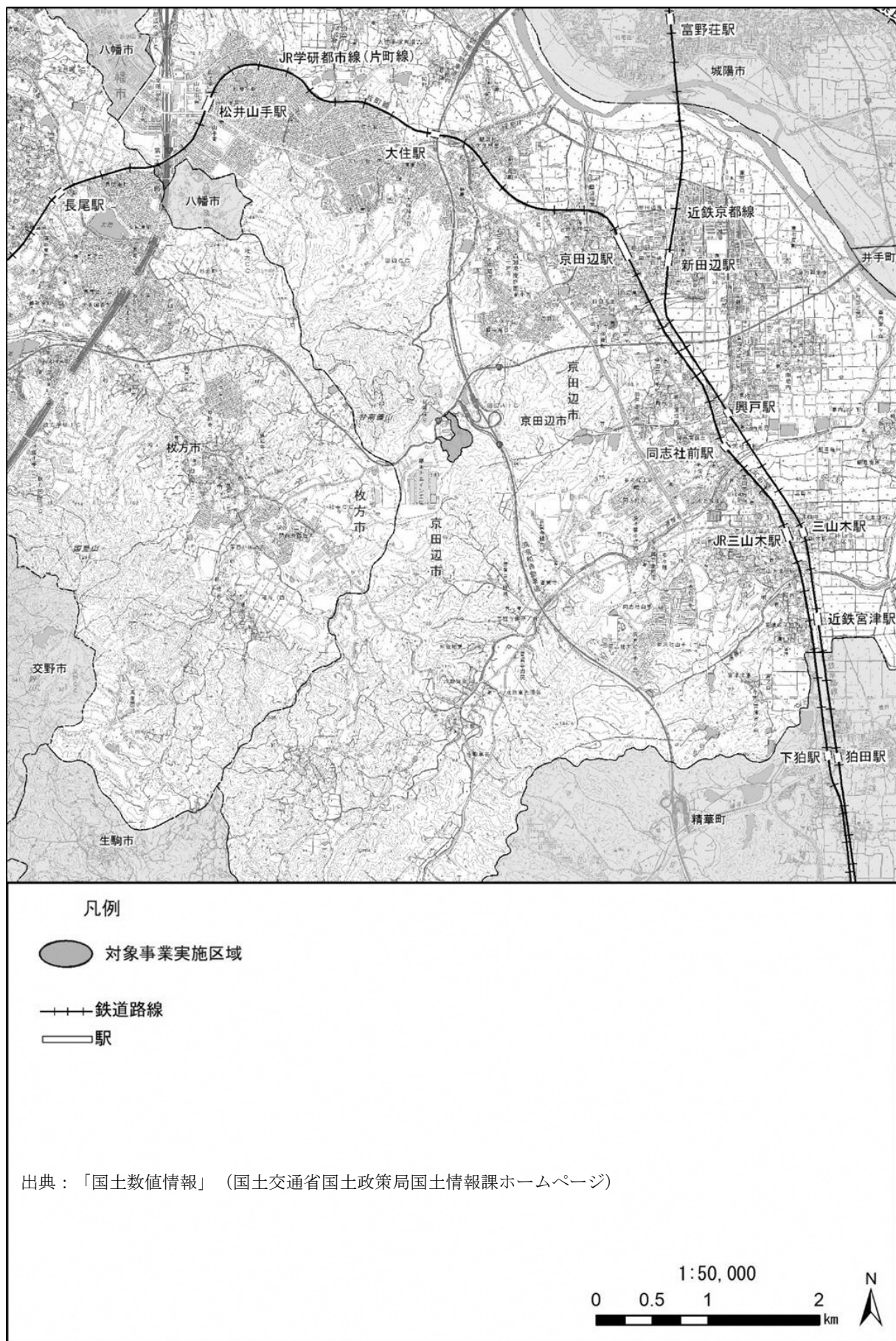


図 2-2.24 鉄道網図

(1) 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設の配置の状況及び住宅の配置の概況

環境保全について配慮が必要な施設として、保育所（園）、幼稚園、小・中学校、高等学校及び大学等（以下「学校等」という。）並びに病院、診療所（以下「医療施設」という。）、社会福祉施設及び文化施設があげられる。

1) 学校等

京田辺市及び枚方市の学校数を表 2-2.61に、調査地域周辺の学校等を表 2-2.62に示す。

対象事業実施区域の北側に京田辺市立薪幼稚園及び京田辺市立薪小学校、東側には同志社大学などがある。

表 2-2.61 京田辺市、枚方市の学校数

市	項目	学校数 (校)	教員数 (人)	児童・生徒数（人）		
				総数	男	女
京田辺市	幼稚園	10	80	976	506	470
	小学校	9	247	4,361	2,198	2,163
	中学校	4	134	2,226	1,097	1,129
	高等学校	2	110	1,730	936	794
枚方市	幼稚園	22	271	4,266	2,153	2,113
	認定こども園	4	129	1,706	819	887
	小学校	46	1,325	22,525	11,446	11,079
	中学校	21	725	11,244	5,940	5,304
	高等学校	8	458	8,342	4,238	4,104

注. 京田辺市は平成 27 年 5 月 1 日現在、枚方市は平成 28 年 5 月 1 日現在。

出典：「平成 27 年 京都府統計書」（平成 29 年、京都府）

：「平成 28 年度 大阪府統計年鑑」（平成 29 年、大阪府）

表 2-2.62(1) 調査地域周辺の学校等

番号	分類	市	名称
1	保育所（園）	京田辺市	社会福祉法人みみづく福祉会 みみづく保育園
2			京田辺市立南山保育所
3			京田辺市立河原保育所
4			京田辺市立三山木保育所
5			京田辺市立草内保育所
6			京田辺市立河原保育所分園
7			社会福祉法人大住福祉会 大住保育園
8			社会福祉法人松井ヶ丘福祉会 パステルキッズ
9			社会福祉法人松井ヶ丘福祉会 松井ヶ丘保育園
10		枚方市	社会福祉法人 氷室保育園
11			社会福祉法人 長尾会長尾保育園
12	幼稚園	京田辺市	京田辺市立薪幼稚園
13			京田辺市立田辺幼稚園
14			京田辺市立普賢寺幼稚園
15			学校法人大阪キリスト教短期大学付属聖愛幼稚園
16			学校法人雑創の森学園そよかぜ幼稚園
17			京田辺市立大住幼稚園
18			京田辺市立松井ヶ丘幼稚園
19			京田辺市立田辺東幼稚園

表 2-2. 62(2) 調査地域周辺の学校等

番号	分類	市	名称
20	幼稚園	京田辺市	京田辺市立草内幼稚園
21			京田辺市立三山木幼稚園
22		枚方市	学校法人長尾学園 長尾幼稚園
23	認定こども園	枚方市	学校法人鴻池学園 認定こども園（幼稚園型） 鴻池学園第三幼稚園
24	小学校	京田辺市	京田辺市立薪小学校
25			京田辺市立桃園小学校
26			京田辺市立田辺小学校
27			京田辺市立普賢寺小学校
28			京田辺市立大住小学校
29			京田辺市立草内小学校
30			京田辺市立田辺東小学校
31			京田辺市立松井ヶ丘小学校
32			京田辺市立三山木小学校
33		枚方市	枚方市立氷室小学校
34			枚方市立菅原東小学校
35			枚方市立菅原小学校
36			枚方市立長尾小学校
37	中学校	京田辺市	京田辺市立田辺中学校
38			学校法人同志社 同志社国際中学校
39			京田辺市立大住中学校
40			京田辺市立培良中学校
41		枚方市	枚方市立杉中学校
42			枚方市立長尾中学校
43	高等学校	京田辺市	学校法人同志社 同志社国際高等学校
44			京都府立田辺高等学校
45	各種学校	京田辺市	京都インターナショナルユニバーシティ
46	大学	京田辺市	学校法人同志社 同志社女子大学京田辺キャンパス
47			学校法人同志社 同志社大学京田辺キャンパス
48		枚方市	学校法人関西外国語学園 関西外国語大学学研都市キャンパス

出典：「京都府私立学校法人、各種学校、私立専修学校、私立高等学校、私立中学校、私立幼稚園一覧」
（京都府ホームページ）

：「京田辺市の学校一覧」（京田辺市教育委員会ホームページ）

：「保育所一覧」（京田辺市ホームページ）

：「市立小中学校、私立小・中学校、幼稚園、保育所等一覧」（京田辺市教育委員会ホームページ）

：「きてみて枚方マップ」（枚方市ホームページ）

2) 医療施設、福祉施設及び文化施設

京田辺市及び枚方市の医療施設数を表 2-2. 63に示す。

調査地域周辺の医療施設を表 2-2. 64に、社会福祉施設を表 2-2. 65に、文化施設を表 2-2. 66に示す。対象事業実施区域の北東側に京都府立こども発達支援センターがある。

表 2-2. 63 京田辺市及び枚方市の医療施設数

市	病院		一般診療所		歯科 診療所
	施設数	病床数	施設数	病床数	
京田辺市	3	599	50	23	27
枚方市	25	5, 402	274	175	208

注. 京田辺市は平成 26 年 10 月 1 日現在、枚方市は平成 27 年 10 月 1 日現在。

出典：「平成 27 年 京都府統計書」（平成 29 年、京都府）

：「平成 28 年度 大阪府統計年鑑」（平成 29 年、大阪府）

表 2-2. 64 調査地域周辺の医療施設

番号	市	名称	所在地
1	京田辺市	医療法人社団石鎚会 田辺中央病院	京田辺市田辺中央 6 丁目 1-6
2		医療法人社団石鎚会 田辺記念病院	京田辺市田辺戸絶 1
3		医療法人芳松会 田辺病院	京田辺市飯岡南原 55
4	枚方市	医療法人中屋覚志会 津田病院	枚方市津田北町 3 丁目 30-1
5		国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院	枚方市藤阪東町 1 丁目 2-1

出典：「京都府病院一覧」（京都府ホームページ）

「きてみて枚方マップ」（枚方市ホームページ）

表 2-2. 65 調査地域周辺の社会福祉施設

番号	市	種類	名称	所在地
1	京田辺市	児童発達支援 センター	京都府立 こども発達支援センター	京田辺市田辺茂ヶ谷 186-1
2		有料老人ホーム	サンライフ三友	京田辺市薪山垣外 86-1
3		養護老人ホーム	京都府立洛南寮	京田辺市大住仲ノ谷 14-1
4		特別養護 老人ホーム	社会福祉法人南山福祉会 つつきの郷	京田辺市三山木西ノ河原 43-2
5			社会福祉法人やすらぎ福祉会 やすらぎの杜	京田辺市同志社山手 2 丁目 1-2
6			社会福祉法人幸生福祉会 九十九園	京田辺市大住池平 99-1
7			社会福祉法人愛育会 セピアの園	京田辺市飯岡南原 41
8	枚方市	児童発達支援セ ンター	枚方市立すぎの木園	枚方市津田東町 2 丁目 35-2

出典：「高齢者福祉施設」（京都府ホームページ）

：「きてみて枚方マップ」（枚方市ホームページ）

：「こども発達支援センター」（京都府社会福祉事業団ホームページ）

表 2-2.66 調査地域周辺の文化施設

番号	市	名称	所在地
1	京田辺市	京田辺市立中央公民館	京田辺市田辺丸山 214
2		京田辺市立中央図書館	京田辺市田辺辻 40
3		京田辺市立北部住民センター「桃竹」	京田辺市大住内山 1-1
4		京田辺市立中央図書館北部分室	京田辺市大住内山 1-1 (北部住民センター内)
5		京田辺市立中部住民センター 「せせらぎ」	京田辺市草内美泥 22-2
6		京田辺市立中央図書館中部分室	京田辺市草内美泥 22-2 (中部住民センター内)
7	枚方市	枚方市図書館氷室分室	枚方市尊延寺 3 丁目 1-47
8		枚方市立菅原生涯学習市民センター	枚方市長尾元町 1 丁目 35-1
9		菅原図書館	枚方市長尾元町 1 丁目 35-1

出典：「京都府立図書館」（京都府立図書館ホームページ）
 ：「社会教育・スポーツ推進課」（京田辺市ホームページ）
 ：「きてみて枚方マップ」（枚方市ホームページ）

3) 環境保全について特に配慮が必要な施設

前述の1)及び2)で記載した施設のうち、本事業で発生する排ガスの最大着地濃度予想距離の2倍を基本として設定した調査地域内に立地しており、環境保全について特に配慮が必要な施設として、学校等4施設、社会福祉施設1施設がある。環境保全について特に配慮が必要な学校等を表 2-2. 67に、社会福祉施設を表 2-2. 68に示す。また、環境保全について特に配慮が必要な学校等の位置を図 2-2. 25に、社会福祉施設の位置を図 2-2. 26に示す。

表 2-2. 67 環境保全について特に配慮が必要な学校等

番号	市	分類	名称	所在地
1	京田辺市	保育所(園)	社会福祉法人みみづく福祉会 みみづく保育園	京田辺市田辺尼ヶ池 18
12	京田辺市	幼稚園	京田辺市立薪幼稚園	京田辺市薪大欠 51
24	京田辺市	小学校	京田辺市立薪小学校	京田辺市薪堀切谷 1
47	京田辺市	大学	学校法人同志社 同志社大学京田辺キャンパス	京田辺市多々羅都谷 1-3

注. 番号は、図 2-2. 25 に対応している。

表 2-2. 68 環境保全について特に配慮が必要な社会福祉施設

番号	市	種類	名称	所在地
1	京田辺市	児童発達 支援センター	京都府立 こども発達支援センター	京田辺市田辺茂ヶ谷 186-1

注. 番号は、図 2-2. 26 に対応している。

出典：「高齢者福祉施設」（京都府ホームページ）

：「きてみて枚方マップ」（枚方市ホームページ）

：「こども発達支援センター」（京都府社会福祉事業団ホームページ）

4) 住宅

京田辺市の薪長尾谷、田辺、枚方市の尊延寺や氷室台、杉山手などに住宅地が分布している。対象事業実施区域に隣接した住宅地はない。なお、対象事業実施区域に最寄りの住宅としては、京田辺市側は、北東に約700mに、枚方市側は、西に約1,500mに立地している。



図 2-2. 25 環境保全について特に配慮が必要な学校等位置図



図 2-2. 26 環境保全について特に配慮が必要な社会福祉施設位置図

(1) 日照の状況

1) 地形及び既存建築物の状況

対象事業実施区域の周囲は、丘陵地に位置しており、周辺にはパッチ状に工場が立地している。北側は国道307号、東側は京奈和自動車道と接している。周囲に高層建築物は立地していない。

2) 土地利用の状況

対象事業実施区域の周囲は、丘陵地が大半を占めるが、一部工場地や道路となっている。

(1) 電波の状況

1) テレビ電波の送信状況

調査地域周辺のテレビ電波送信状況概要を表 2-2. 69に、テレビ電波の状況を図 2-2. 27に示す。調査地域周辺は大阪局と京都局によりテレビ電波が広範囲に送信されており、田辺大住や枚方尊延寺などに中継局が設置されている。

表 2-2. 69 テレビ電波送信状況概要

番号	送信局	放送局名	リモコン チャンネル	受信 チャンネル	送信場所	送信出力 (W)
-	大阪局 (中継局含む)	NHK 総合	1	24	生駒山	3,000
		NHK 教育	2	13		
		テレビ大阪	7	18		
		毎日放送	4	16		
		朝日放送	6	15		
		関西テレビ放送	8	17		
		読賣テレビ放送	10	14		
-	京都局 (中継局含む)	NHK 総合	1	25	比叡山	20
		京都放送	5	23		
		NHK 教育	2	40		
		毎日放送	4	33		
		朝日放送	6	38		
		関西テレビ放送	8	42		
		読賣テレビ放送	10	35		
1	山城田辺中継局	NHK 総合	1	45	天王の山	1
		京都放送	5	43		
2	枚方尊延寺中継局	NHK 総合・教育、広域民放4社、テレビ大阪	-	-	枚方尊延寺	0.01
3	田辺大住中継局	NHK 総合・教育、広域民放4社、京都放送	-	-	田辺大住	0.01

注 1. 広域民放4社とは、「毎日放送」、「朝日放送」、「関西テレビ放送」、「読賣テレビ放送」の民間放送局を指す。

注 2. 番号は図 2-2. 27 に対応している。

出典：「近畿総合通信局 近畿地区の地上デジタルテレビ放送局」（総務省ホームページ）

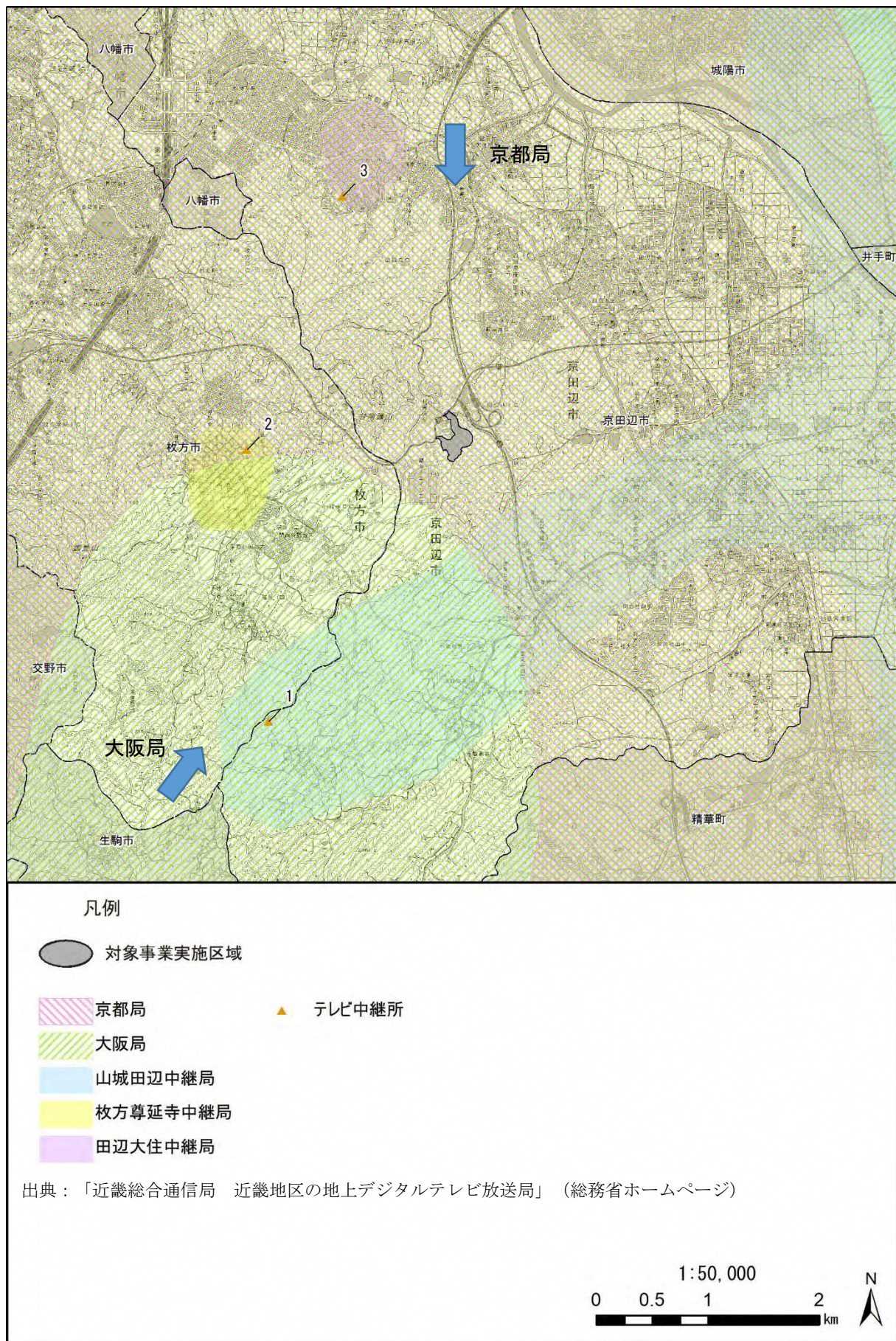


図 2-2.27 テレビ電波の状況図

(1) 廃棄物等の状況

1) 一般廃棄物

京田辺市及び枚方市における一般廃棄物排出量の推移を表 2-2.70に示す。

平成27年度のごみ総排出量は、京田辺市20,804 t、枚方市126,901 t で、平成26年度と比較して、京田辺市は微増、枚方市は減少している。平成27年度の資源化量は京田辺市3,108 t、枚方市26,940 t で、リサイクル率は京田辺市14.93%、枚方市21.23%となっている。直接焼却量は、京田辺市15,908 t、枚方市93,778 t となっている。

表 2-2.70 一般廃棄物排出量の推移

区 分	京田辺市			枚方市		
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
ごみ総排出量 (t)	20,821	20,772	20,804	127,629	127,531	126,901
生活系ごみ搬入量 (t)	13,893	13,846	13,760	76,542	75,417	74,857
事業系ごみ搬入量 (t)	4,664	4,676	4,856	31,962	33,464	34,416
集団回収量 (t)	2,264	2,250	2,188	19,125	18,650	17,628
直接資源化量+中間処理後再生利用量 (t)	1,065	908	920	8,685	9,251	9,312
資源化量 (t)	3,329	3,158	3,108	27,810	27,901	26,940
リサイクル率 (%)	15.98	15.24	14.93	21.79	21.88	21.23
直接焼却量 (t)	15,369	15,497	15,908	92,522	93,737	93,778

出典：「一般廃棄物処理実態調査結果」（平成 27～29 年、環境省）

2) 産業廃棄物

京田辺市及び枚方市の位置する京都府及び大阪府における産業廃棄物の業種別発生量を表 2-2.71に示す。

平成25年度に排出された産業廃棄物は、京都府4,741,540 t、大阪府11,743,100 tとなっており、平成24年度と比較すると京都府は減少したものの、大阪府は増加している。

業種別にみると、京都府及び大阪府ともに「電気・ガス・熱供給・水道業」が最も多く、次いで「建設業」、「製造業」の順となっている。

表 2-2.71 産業廃棄物の業種別発生量

業 種	京都府 (t/年)		大阪府 (t/年)	
	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
農業、林業	286,653	271,283	53,721	52,840
漁業	18	15	5	25
鉱業	2,773	4,023	15,311	20,968
建設業	868,181	936,014	2,774,540	2,803,239
製造業	604,022	592,924	2,293,190	2,234,456
電気・ガス・熱供給・水道業	3,143,223	2,794,523	6,354,890	6,440,710
情報通信業	3,707	4,867	4,159	4,410
運輸業、郵便業	9,034	6,937	27,269	23,581
卸売・小売業	83,098	95,331	36,493	30,299
不動産業、物品賃借業	1,796	2,091	1,486	4,959
学術研究、専門・技術サービス業	378	1,248	580	5,373
飲食店、宿泊業	10,565	11,261	32,395	35,232
生活関連サービス業、娯楽業	2,850	2,943	24,307	19,999
教育、学習支援業	975	4,244	2,159	4,716
医療、福祉	9,727	8,897	23,362	41,053
複合サービス事業	103	952	191	1,870
サービス業	480	3,785	4,397	12,727
公務	171	200	2,303	6,644
合計	5,027,756	4,741,540	11,650,757	11,743,100

出典：「産業廃棄物排出・処理状況調査報告書 平成 24・25 年度実績（概要版）」（平成 27・28 年、環境省）

(10) 上水道及び下水道の整備の状況

1) 上水道の給水状況

京田辺市及び枚方市における上水道の給水状況を表 2-2.72に示す。

平成26年度の給水普及率は、京田辺市99.50%、枚方市99.97%となっている。また、1日最大給水量は、京田辺市23,680m³/日、枚方市141,400m³/日となっている。

表 2-2.72 上水道の給水状況

市	計画給水人口 (人)	給水人口 (人)	給水普及率 (%)	1日平均給水量 (m ³ /日)	1日最大給水量 (m ³ /日)
京田辺市	70,000	66,754	99.50	21,276	23,680
枚方市	402,984	402,876	99.97	127,899	141,400

注. 平成 26 年度末現在。

出典：「平成 27 年度 水道統計 施設・業務編（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）第 98－1 号」
 （平成 29 年、公益社団法人 日本水道協会）
 ：「大阪府の水道の現況-平成 26 年度大阪府の水道の現況」（大阪府ホームページ）

2) 下水道の整備状況

京田辺市及び枚方市における下水道普及状況を表 2-2.73に示す。

下水道の行政人口比の普及率は、京田辺市98.2%、枚方市95.0%となっている。また、計画面積比の普及率は、京田辺市85.7%、枚方市63.9%となっている。

表 2-2.73 下水道普及状況

市	計画面積 (ha)	処理面積 (ha)	処理人口 (人)	行政人口 (人)	普及率 (%)	
					計画面積比	行政人口比
京田辺市	1,372	1,176	65,888	67,085	85.7	98.2
枚方市	5,228	3,343	384,696	404,939	63.9	95.0

注. 平成 27 年度末現在。

出典：「京田辺市統計書 平成 28 年版」（平成 29 年、京田辺市）
 ：「第 46 回枚方市統計書（平成 28 年版）」（平成 29 年、枚方市）

(10) 都市計画法に基づく地域地区等の決定状況及びその他の土地利用計画

1) 用途地域の指定状況

京田辺市及び枚方市の都市計画区域面積を表 2-2.74に、調査地域周辺の都市計画図（用途地域）を図 2-2.28に示す。対象事業実施区域の一部は工業専用地域に指定されているが、大半は用途地域の指定がない。また、枚方市では平成29年3月10日に、東部大阪都市計画道路に係る都市計画の変更を行い、長尾杉線（東部大阪都市計画道路 3・5・210-60）の追加を決定した。都市計画道路概要は表 2-2.75に、位置は図 2-2.29に示す。

表 2-2.74 都市計画区域面積

地域区分		市	
		京田辺市	枚方市
都市計画区域 (ha)		4,292	6,508
市街化区域 (ha)		1,074	4,182
市街化調整区域 (ha)		3,218	2,326
用途地域 (ha)	総数	1,074.3	4,182.2
	第1種低層住居専用地域	256.7	908.9
	第2種低層住居専用地域	14.6	91.2
	第1種中高層住居専用地域	234.8	1340.7
	第2種中高層住居専用地域	18.1	563.5
	第1種住居地域	286.1	259.3
	第2種住居地域	76.7	201.4
	準住居地域	-	26.7
	近隣商業地域	21.4	98.9
	商業地域	28.7	33.1
	準工業地域	6.0	334.4
	工業地域	34.2	94.1
	工業専用地域	97.0	230.0

注1. 平成27年3月31日現在。

注2. 端数処理を行っているため、各用途地域の合計は整合しない場合がある。

注3. 市街化調整区域の面積は、行政区域面積から市街化区域面積を引くなどして算出している。

注4. “-” は地域区分がないことを示す。

出典：「平成27年 京都府統計書」（平成29年、京都府）

：「平成28年度 大阪府統計年鑑」（平成29年、大阪府）

表 2-2.75 都市計画道路概要

種別	名称		位置			区域	構造			
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造
幹線街路	3・5・210-60	長尾杉線	枚方市長尾東町1丁目地内	枚方市杉責谷1丁目地内	枚方市杉北町1丁目地内	約1,750m	地表式	2車線	14m	自動車専用道路と立体交差1箇所(第2京阪道路) 幹線道路と平面交差3箇所(大阪枚方京都線、牧野長尾線、枚方東部線)

出典：「東部大阪都市計画道路の変更（枚方市決定）」（平成29年、枚方市）

2) 土地利用計画の状況

調査地域周辺の土地利用基本計画を図 2-2.30に示す。調査地域周辺には森林地域、農業地域及び市街化調整区域等が位置している。対象事業実施区域は森林地域及び市街化調整区域である。

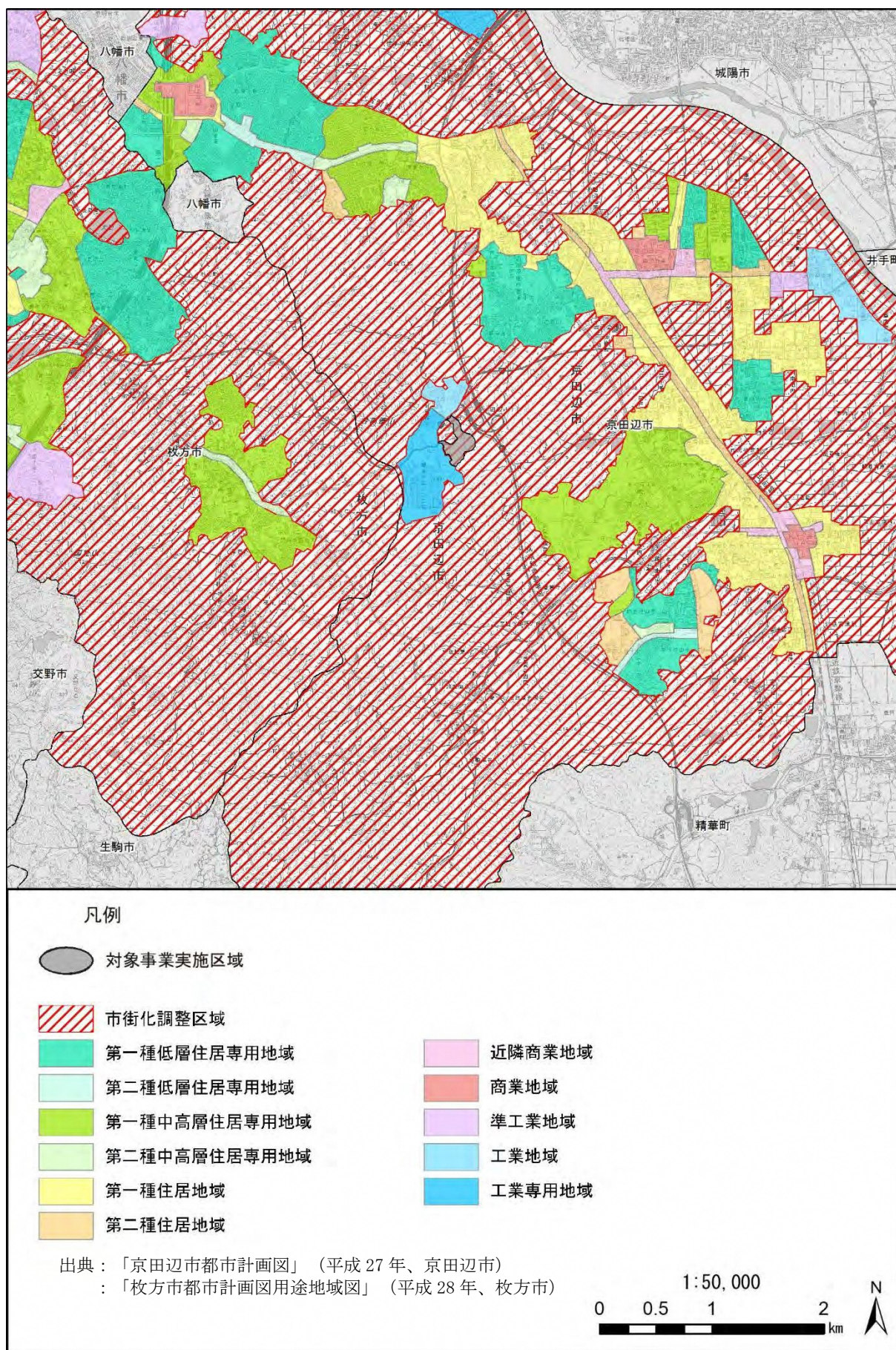


図 2-2. 28 用途地域図



図 2-2. 29 都市計画道路

